

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		床面はマットを敷くことで段差を軽減しているが手すりについては必要に至っていないため今後、利用者によっては検討する必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月、全体職員会議を行い会議録を回覧し全職員に周知を徹底している。また、必要に応じて会議を行い業務改善に取り組んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価表は昨年より実施。業務改善を行った。アンケート等は、2017年9月に実施中であるため、意向等を踏まえ改善に繋げていく予定である。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2017年9月にホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			2016年に第三者外部評価を行う。課題面を一つずつ見直し業務改善中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間で事業所内研修を5回実施、外部研修は7回以上確保している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に担当者会議を行い保護者のニーズを確認しながら計画を作成を行っている。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		Vineland-IIを準備しているが実施にはまだ至っていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の日頃の変化に対応できるようにプログラム内容の予備を考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の目標、集団の中での目標を計画書の中に盛り込み作成を心掛けている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			週のリーダーが支援の前日や支援開始前に役割を伝えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日勤務終了前に反省会を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援記録を作成し、その日に利用者個人の目標に添って記録をとっている。記録終了後は、児童発達支援管理責任者が最終確認を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定められた期間内にモニタリング・計画の原案・計画の本案を作成するよう、わかりやすく掲示し職員に必要性を重視している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○	地域支援についての活動が十分ではないため検討課題として努力していく	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用者に対して担当職員必ず決めており、その職員が会議に参画するよう努めている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者の了解を得た上で学校見学、学校担任と直接話しをして情報共有を行っている。送迎時の注意事項については、学校より連絡のプリントが配られている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	該当児はいないが、主治医との連絡体制は整えていくよう努めていく。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	就学前の園との情報共有は保護者からの情報のみである。事業所に関しては、見学し合い相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		2年後に移行する利用者がある為、現在学校と連携し情報共有中である。今後、移行先が決まれば情報提供する予定である。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		定期的にセンター主催の研修に参加しその中で助言を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在は個人情報の観点から行っていないが、検討課題ではある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		研修会などへの参加を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートや送迎時に伝え合い、共通理解に努めている。必要に応じて面談も行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			主に個別相談の中で行っている。必要に応じて家庭訪問し支援を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			見学、契約時に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノートで行っているが、相談内容によっては個別面談を実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		大きな開催は行っていないが個々に答える機会作りを行っている。現在アンケート調査を行い実施へ向け準備中である。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情については体制を整備しておりマニュアルも作成している。苦情があった場合は即日会議を行い対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			不定期ではあるが会報を発行している。また今年度8月にブログを開設し、活動の内容を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			マニュアルを作成し対応している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			ひと月ごとに活動の様子をまとめた写真付きのプリントを保護者に渡している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報の兼ね合いから地域に開かれた事業運営は行われていない。今後の課題検討事項である。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	職員に対しての周知を行っているが保護者に対しての周知不足があり、今後改善に向け努力していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2～3回の避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回職員研修の中で虐待防止についての研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	放課後等デイサービス計画書の中には記載されていないが、重要事項説明書の中に明記し、契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか				